

2023年度経済同友会の振り返り



通常総会(2023年4月27日)



夏季セミナー(2023年7月6～7日)



代表幹事韓国ミッション
(2023年7月28、29日)



共助資本主義 第1回マルチセクター・
ダイアローグ(2023年9月8日)



日本リスキングコンソーシアムとの
連携締結 (2023年10月31日)



ラウンドテーブル 2023～未来を探る円
卓会議～ (2023年12月6日)



日印国際ラウンドテーブル「ライシナ
東京」(2024年3月6、7日)



東京レインボー・プライド
(2024年4月21日)

経済同友会 2024年度代表幹事所見

新たな経済社会創造に向けて
—令和モデル「共助資本主義」の実現

地政学の時代の再来と転換点にある日本

20年余りに及ぶ
デフレスパイラルの先

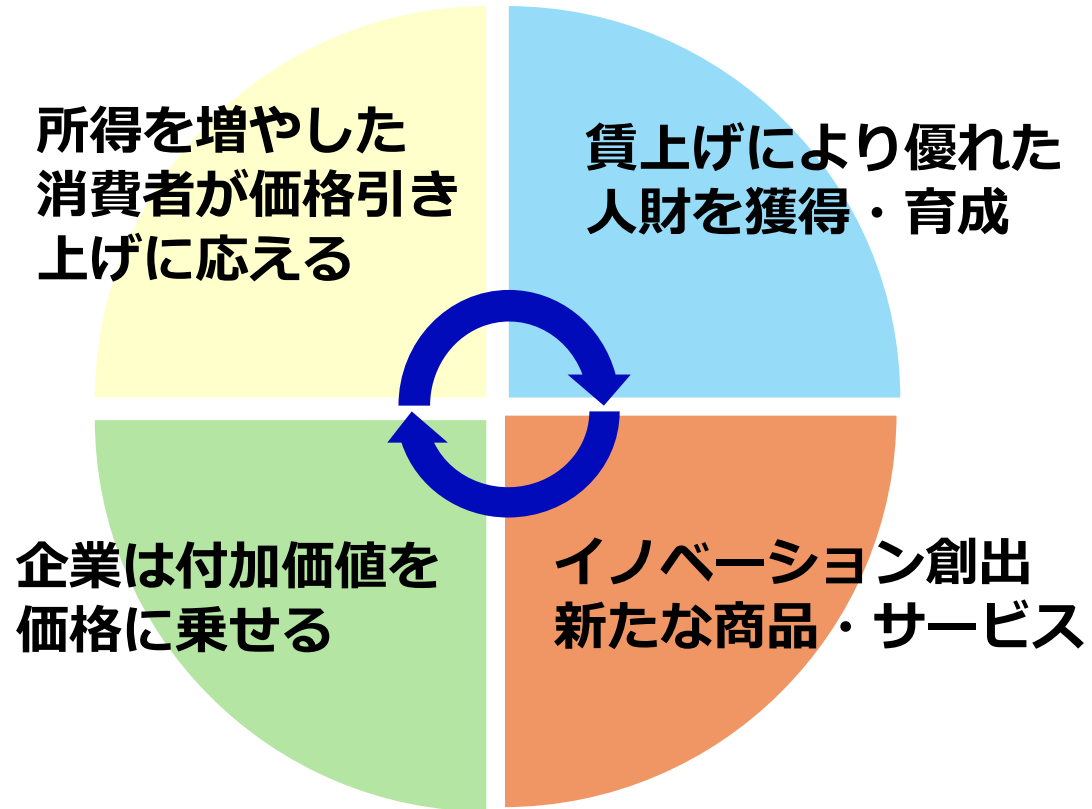
出口の光



世界：「地政学の時代」、
リアル・ポリテイクの再来

日本：経済・社会が数十年に一度の大きな転機

賃上げの春



長らく止まっていた経済成長のエンジンの再始動

なるべく動かず耐え続けることが最適解だったデフレの時代



動かずにいれば自ずと負けるインフレの時代に

経済成長を突き動かすための アニマル・スピリッツ

未来を切り拓くべくリスクテイクしていく野心と意欲

デフレ・マインドの払拭

内なる野生を回復

イノベーションを喚起
資本主義のダイナミズムを取り戻す

成長と社会の豊かさの実現

日本の復活：厳しい競争と新陳代謝が前提

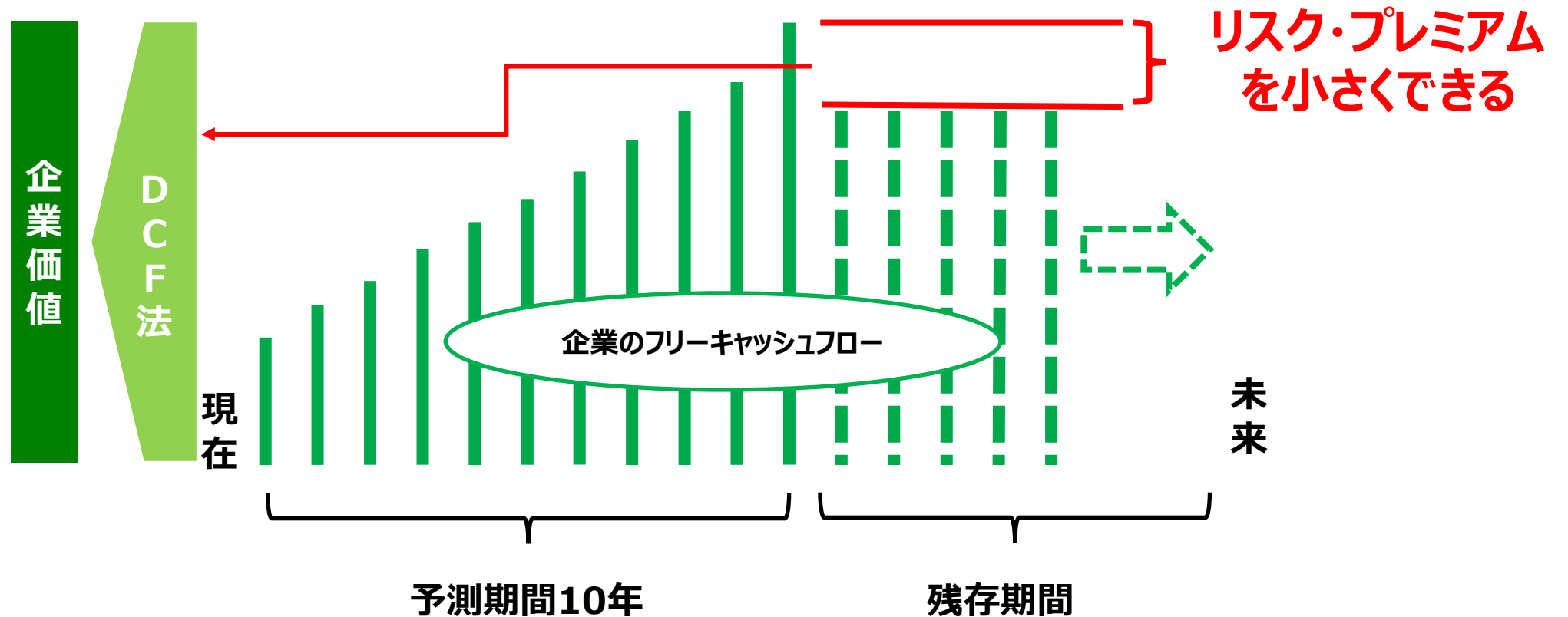
≠ 世界で社会を修復不能までに分断させている
過度に貪欲な資本主義

資本主義のダイナミズムを取り込み、
その経済成長を分断ではなく、
社会の豊かさ・人々のwell-beingにつなげる

「共助資本主義」の提唱

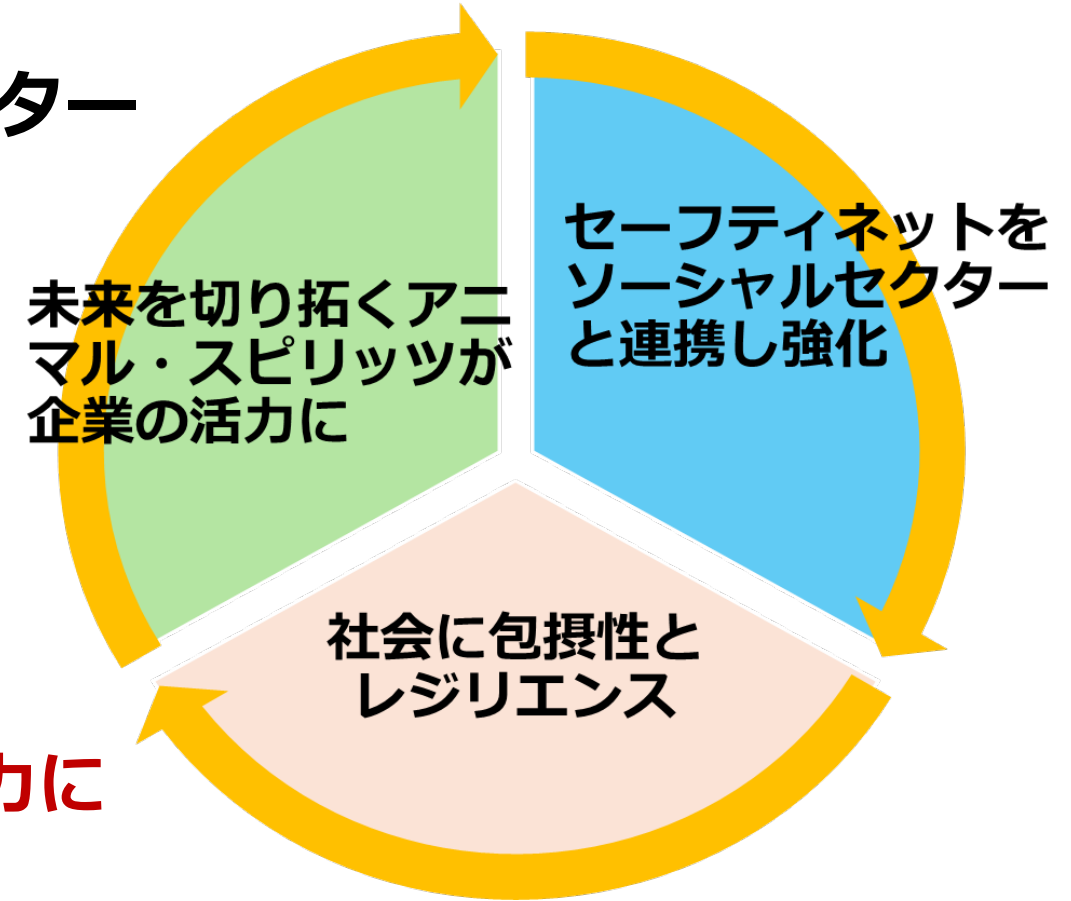
共助資本主義における企業価値

社会から評価されることが、企業のレジリエンスを高め、
企業価値の算出においてもメリットを生む



企業社会に求められることー共助資本主義の理念

- ✓ 事業を営む中で、ソーシャル・セクターと連携しながら**社会課題を解決**
- ✓ 企業は**社会から必要とされる、社会に欠かせない一員に**
- ✓ 中長期的に**企業価値を向上**
新たなイノベーションを創出する原動力に

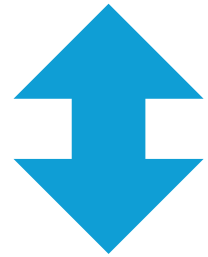


この**循環**を世界に先駆けて生み出すことが、

私たちのフロンティア

地政学の時代を生きる経営者

世界：ヘゲモニーをめぐる
せめぎ合い



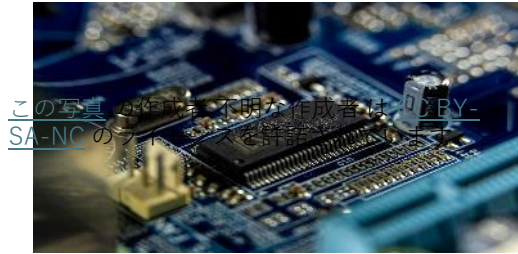
日本の企業社会：世界に対する感度の低下



**世界の動向を学び合う場を作り、
闊達な議論で、共助資本主義のコンセプトを磨く**



Quantum



昭和・平成モデル

人口増加と高度成長を前提とした仕組み

「失った30年」のデフレ社会に最適化した政策

決 別

民主導で大胆に経済・社会構造を作り替える

令和モデル「共助資本主義」

人口減・高齢化、地政学の時代を生き抜く

早急に取り組む5つのテーマ

1. 雇用・労働政策

- **労働力の供給不足の解消**：働きたい人が働きたいだけ働ける社会に
- **働く人を守るための人材流動性の豊かな社会の構築**
- **外国人労働者受入れの拡大**
- **労働法制改革**も見据えた根本的な議論

2. 財政・社会保障政策

- **EBPM**によって**ワイズスペンディング**を徹底
- 財政規律の強化に向けた**歳出歳入の一体改革**
- 令和の時代に合った**年金制度改革、医療・介護一体改革**

3. DEIの更なる推進

- これからの時代、**果敢な挑戦による新たな価値の創造が不可欠**
- DEIは**イノベーションの源泉**であり、**企業の競争戦略そのもの**
- 日本社会に根付くまで、**しつこく取り組み続けなければならない**

4. 政治・行政改革

- 政治資金規正法を**透明化・厳格化**
- 実効性ある**政党ガバナンス・コードの策定・強化**、**政党法の検討**
- 国会改革による**公務員の働き方改革**、**国会審議の充実化・可視化**
- **参議院のあるべき姿**についての根本的な議論

5. エネルギー政策

- 日本が抱える脆弱性：中東をめぐる地政学的なリスクの高まり
- AI・半導体などによる電力需要増、カーボンニュートラルの要請
- 2050年の日本のエネルギー・ミックスのあるべき姿に関する、国民的なコンセンサスの形成
- 原子力とどう向き合うか：安全性への最大限配慮を前提に、タブーなき科学的議論を
- 既存原発の再稼働、既存原発のリプレース・新增設に関する熟議
- 高速増殖炉や核融合、水素などの次世代技術への投資

経済同友会自身の運営への取り組み

- 学び、つながることによって、会員の一人ひとりが自ら預かる**企業の変革を実行していく**ことができる。
- 共に**現実を変えていく同志**となってもらいたい



「会員エンゲージメント委員会」を設置し、
会員拡充とエンゲージメント向上の好循環の仕組み
を構築する

「リベラルアーツプログラム」「動画配信」などを
通じて、同友会ならではの**「学びの場」**を提供する

プロジェクト2000

新たな仲間を増やす取組みを加速

2023年度
会員数**1,600名**を達成



2期4年間で
会員数**2,000名**以上に

IT・デジタル、外食、小売、流通、ヘルスケアなど、
より**多様な業種の経営者の入会を促進**

まっさらな地平に**新しい理念やモデル**
を描くことができる**千載一遇の機会**

経済同友会に集う**多士済々の同志たち**
と**未来を拓けることが楽しみ**

経済同友会の活動方針



ともに脳漿を絞り、ともに汗をかく

ご清聴ありがとうございました